



野口英世博士会

横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名  
並木中央小学校

6年

2組 名前

長谷川直生

野口英世博士へ

僕は英世博士のことを知り、学んだことが  
 二つあります。一つ目は夢をかなえるために  
 努力することです。僕はなりたい夢がありま  
 す。一つは一つ一つのそのための努力をおこた  
 してしまうことがありません。ただ、英世博士は医  
 師になるという夢をもつてから努力して医師  
 になつたので少しそんけいします。  
 二つ目は夢がかなつても努力をつげること  
 です。僕は夢がかなつても、夢がかなつた  
 けれど、たゞと、思つて息をぬいてしまいま  
 す。ただ、英世博士は努力を夢がかなつた今でも  
 がんばつたらしいことをなしてほめていま  
 す。たゞ、英世博士はノーベル賞こつほに三回  
 受賞しました。そのことができたのはけつして  
 やめなかつた努力のけつしょうだと思ひます。  
 昔、人類に希望をあたえてくれた英世博士  
 は今も光をあたえてくれていて信じていま  
 す。あなたのような存在になりたいです。